

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 かねて
①いつの間にか ②前もって ③少しずつ ④ゆっくりと

- 2 ゆめく禁止
①決してしてはいけない ②自分でしてはいけない ③これ以上してはいけない ④できればしてはいけない

- 3 わざと
①特別に ②奇妙に ③内密に ④故意に

- 4 けしからず
①おもしろい ②悪くはない ③神妙だ ④異様だ

- 5 かちより
①歩いて ②意地で ③気ままに ④黙々と

「B」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。
6 御よろこびなど言ひおこする人も、かへりては弄ずる心地して、ゆめうれしからず。
(蜻蛉日記)

- （訳）（夫の大納言昇進の）お祝いなど言つて寄こす人も、逆にからかっている感じがして、（私は）「」うれしく「」。

- ①なぜかくない ②少しくない ③もうくない ④まったくくない

7 うたて、なにしに、さ申しつらむ。（枕草子）
（訳）「」、「」、どうして、（私は）あんな風に申し上げてしまったのだろうか。

- ①意外なことに ②いやなことに ③残念なことに ④正直なことに

8 あなかま、人に聞かすな。いとをかしげなる猫なり。飼はむ。（更級日記）
（訳）「」、「」、人に聞かせてはいけない。とてもかわいらしい猫だ。飼おう。

- ①なるほど、そうか ②ちよつと待って ③しつ、静かに ④いいか、わかつたな

9 人の臥したるを、奥の方よりやをらのぞいたるも、いとをかし。（枕草子）
（訳）人が寝ているのを、奥の方から「」のぞいているのも、とてもおもしろい。

- ①そつと ②ぼんやり ③ちよつと ④じつと

10 それ（「竜の首」が玉を取らむとて、そこらの人々の害せられむとしけり。（竹取物語）
（訳）竜の首の宝石を取ろうとして、「」の人々が殺されようとした。

- ①いくらか ②その一帯 ③すべて ④たくさん

11 二十八日、よもすがら雨やまず。今朝も。（土佐日記）
（訳）二十八日、「」雨が止まない。今朝も（降っている）。

- ①一晩中 ②夜になると ③一日中 ④夜明けから

12 わざとかねて外の（桜ノ花ビラ）をも散らして、庭に敷かれたりけるにや。（今鏡）
（訳）「」前もって外の桜の花びらをも散らして、庭に敷かれたのであるうか。

- ①やはり ②わざわざ ③ひたすら ④どうして

13 冬枯れのけしきこそ、秋にはをさをさ劣るまじけれ。（徒然草）
（訳）冬枯れの様子は、秋には「」劣ら「」。

- ①まあまあくないだろう ②それでもくないだろう ③ほとんどくないだろう ④まったくくないだろう

14 かたみに思ひあふことかぎりなし。（宇治拾遺物語）
（訳）（男と女は）「」愛し合うことこの上もない。

- ①深く ②ときに ③いつも ④たがいに

15 わざとの僧膳はせさせ給はで、湯漬けばかり給ふ。（大鏡）
（訳）（道長殿は僧たちに）「」食膳は用意なさらずに、湯漬けのご飯だけを振る舞いなさる。

- ①平凡な ②本格的な ③派手な ④大仰な

15 「」 「」
14 「」 「」
13 「」 「」
12 「」 「」
11 「」 「」
10 「」 「」
9 「」 「」
8 「」 「」
7 「」 「」
6 「」 「」
5 「」 「」
4 「」 「」
3 「」 「」
2 「」 「」
1 「」 「」

【新一年生用】 古文単語330三訂版 P 2 4 6 ~ P 2 5 3

- 15 〔 ② 〕
- 14 〔 ④ 〕
- 13 〔 ③ 〕
- 12 〔 ② 〕
- 11 〔 ① 〕
- 10 〔 ④ 〕
- 9 〔 ① 〕
- 8 〔 ③ 〕
- 7 〔 ② 〕
- 6 〔 ④ 〕
- 5 〔 ① 〕
- 4 〔 ④ 〕
- 3 〔 ① 〕
- 2 〔 ① 〕
- 1 〔 ② 〕